

ベテランの慣れが油断を連れて来る

田中 たづ子

正否より空気読みつつ生きた今日

藤井 節子

専業主婦エプロンにとって休日

寺畑 俊子

家庭平和母の力は縁の下

竹本 タエ子

終活でアルバム整理手が止まり

山本 幸恵

べてらんのがれがゆだんをつれてくる

たなか たづこ

せいひよりくうきよみつついきたきよう

ふじい せつこ

せんぎょうしゆふえふるんにとってきゆうそくび

てらはた としこ

かていへいわははのちからはえんのした

たけもと たえこ

しゅうかつであるばむせいりてがとまり

やまもと ゆきえ

ひとり居の一つ求める柏餅

村瀧 富子

また同じ思ひ出話柿の花

林 保江

走り来る子等の頭上に枇杷たわわ

春吉 智子

豆飯を炊くや故郷香り立つ

田中 孝利

暗やみに蛍残した点と線

森田 今子

ひとりいのひとつもとめるかしわもち

むらたき とみこ

またおなじおもひでばなしかきのはな

はやし やすえ

はしりくるこらのずじょうにびわたわわ

はるよし ともこ

まめめしをたくやふるさとかおりたつ

たなか たかとし

くらやみにほたるのこしたてんとせん

もりた いまこ

あめんぼを飽かず眺める君の背を
初夏の光が優しく照らす

賤間 星

可も不可も折り重なりて八十路まで
開き直った先は青空

江川 詳子

健やかに今を生きなむ八十路ゆく
花見の膳を友らと楽しむ

河野 敬子

一仕事終えて木陰で休む山羊
なだらか草地ぬける夏風

山口 正子

山頭火歩んだ道筋見て思う
その健脚で何を追ったの

橋本 夏樹

あめんぼをあかずながめるきみのせを
しよかのひかりがやさしくてらす

ざいま せい

かもふかもおりかさなりてやそじまで
ひらきなあったさきはあおぞら

えがわ しょうこ

すこやかにいまをいきなむやそじゆく
はなみのぜんをとらとたのしむ

かわの としこ

ひとしごとおえてこかげでやすむやぎ
なだらかくさちぬけるなつかぜ

やまぐち まさこ

さんとうかあゆんだみちすじみておもう
そのけんきやくでなにをおったの

はしもと なつき

やさしい心でスープを煮込む

林 陽子

額のごはんつぶ 空気がやわらかくなる

西岡 悦子

友の著書を開けば古希の足音

吉野 俊夫

今日を空っぽにして明日への活力

松下 満江

夏服の子供達の白が眩しい

賤間 由美子

やさしいこころですーぷをにこむ

はやし ようこ

ひたいのごはんつぶ くうきがやわらかくなる

にしおか えつこ

とものちよしよをひらけばこきのあしおと

よしの としお

きょうをからっぽにしてあすへのかつりよく

まつした みつえ

なつふくのこどもたちのしろがまぶしい

ざいま ゆみこ

